

ナント地域経済調査結果【2018年1～3月期】

～ 奈良県内の景気は横ばいで、全体としては緩やかに持ち直している～

はじめに

地域の経済状況を把握する「ナント地域経済調査【2018年1～3月期】」を実施し、その結果を取りまとめました。本調査は、南都銀行の各支店長に対するアンケート調査を通じて、地域の景気の水準・方向性を把握することを目的とするものです（調査概要は本稿最終ページに記載）。

1 支店長が判断する景気の水準

1. 総合判断

今期（2018年1～3月期）の景気水準は、奈良県全体で $\Delta 7.5$ となり、前期（2017年10～12月期）から横ばい（前期比、以下同じ）となったことから、奈良県内の景気は全体としては緩やかに持ち直している。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2017年10-12月期)	$\Delta 7.5$	$\Delta 5.5$	$\Delta 6.0$	$\Delta 3.4$	$\Delta 9.7$	$\Delta 5.1$	$\Delta 9.7$
今期(2018年1-3月期)	$\Delta 7.5$	$\Delta 7.0$	$\Delta 7.0$	$\Delta 1.7$	$\Delta 6.3$	$\Delta 0.6$	$\Delta 9.1$
前期比(ポイント)	0.0	$\Delta 1.5$	1.0	1.7	3.4	4.5	0.6

エリア別にみると、北和地区は前期の $\Delta 2.5$ から $\Delta 3.8$ へと2期連続の悪化、中和地区は同 $\Delta 3.6$ から $\Delta 2.4$ へと2期連続の改善、東部・南和地区は同 $\Delta 27.8$ から横ばいとなった。

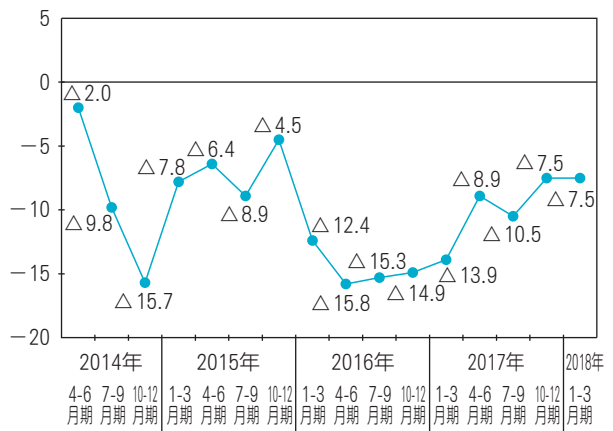
また他府県では、大阪府が前期の13.5から7.7へと2期ぶりの悪化、京都府が同2.9から0.0へと2期連続の悪化、和歌山県が同 $\Delta 5.6$ から5.6へと3期ぶりの改善となった。

以上により、エリア別の景気水準は、中和地区、和歌山県が改善、東部・南部地区が横ばい、北和地区、大阪府、京都府が悪化となった。

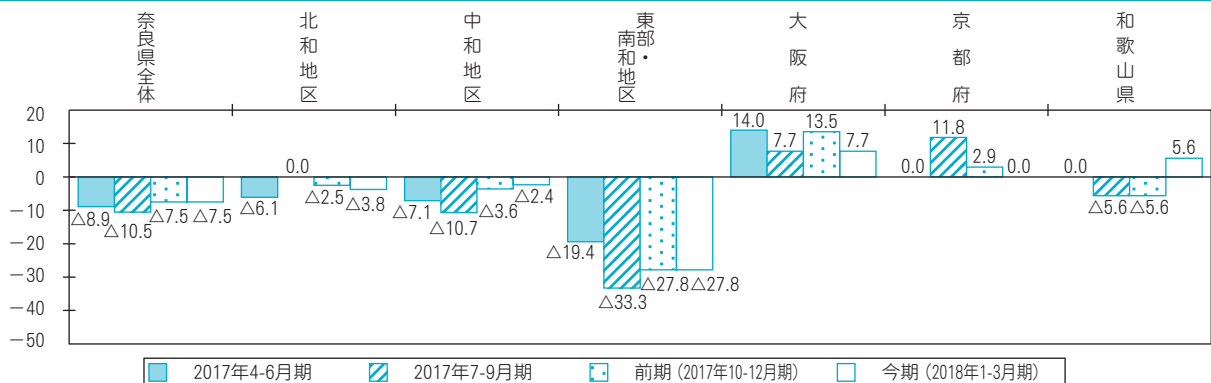
2. 奈良県全体の景気水準の推移

これまでの奈良県全体の景気水準の動きをみると、2014年1～3月期には0.5と2012年の調査開始以来唯一のプラス値を記録。その後はマイナス圏内を推移し、今期は $\Delta 7.5$ と前期から横ばいで、景気は全体としては緩やかに持ち直している（再掲）。

景気水準の推移（奈良県、総合判断）



景気水準（総合判断）



（注）大阪府、京都府、和歌山県の各営業エリアは、当該府県域全体を対象としていないので注意（南都銀行の支店所在地エリアが対象）。

3. エリア別にみた項目ごとの景気水準

(1) 北和地区（前期比△1.3ポイント、以下同じ）

【個人】資金需要（+1.3ポイント）は改善。消費（△2.5ポイント）は悪化。【企業】収益（+6.1ポイント）と設備投資（+4.5ポイント）は改善。生産活動は横ばい。資金需要（△1.5ポイント）は悪化。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2017年10-12月期)	△2.5	△2.5	△3.8	1.5	△3.0	△4.5	△4.5
今期(2018年1-3月期)	△3.8	△5.0	△2.5	1.5	3.0	0.0	△6.1
前期比(ポイント)	△1.3	△2.5	1.3	0.0	6.1	4.5	△1.5

(2) 中和地区（+1.2ポイント）

【個人】資金需要（+3.6ポイント）は改善。消費（△1.2ポイント）は悪化。【企業】生産活動（+1.3ポイント）、収益（+6.4ポイント）、設備投資（+3.8ポイント）は改善。資金需要（△1.3ポイント）は悪化。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2017年10-12月期)	△3.6	△6.0	△2.4	1.3	△9.0	0.0	△2.6
今期(2018年1-3月期)	△2.4	△7.1	1.2	2.6	△2.6	3.8	△3.8
前期比(ポイント)	1.2	△1.2	3.6	1.3	6.4	3.8	△1.3

(3) 東部・南和地区（横ばい）

【個人】消費は横ばい。資金需要（△5.6ポイント）は悪化。【企業】生産活動（+6.3ポイント）、設備投資（+6.3ポイント）、資金需要（+9.4ポイント）は改善。収益（△9.4ポイント）は悪化。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2017年10-12月期)	△27.8	△11.1	△19.4	△25.0	△25.0	△18.8	△37.5
今期(2018年1-3月期)	△27.8	△11.1	△25.0	△18.8	△34.4	△12.5	△28.1
前期比(ポイント)	0.0	0.0	△5.6	6.3	△9.4	6.3	9.4

(4) 大阪府（△5.8ポイント）

【個人】消費（△7.7ポイント）と資金需要（△3.8ポイント）はいずれも悪化。【企業】収益（+3.8ポイント）、設備投資（+7.7ポイント）、資

金需要（+3.8ポイント）は改善。生産活動は横ばい。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2017年10-12月期)	13.5	13.5	9.6	17.3	17.3	15.4	5.8
今期(2018年1-3月期)	7.7	5.8	5.8	17.3	21.2	23.1	9.6
前期比(ポイント)	△5.8	△7.7	△3.8	0.0	3.8	7.7	3.8

(5) 京都府（△2.9ポイント）

【個人】消費（+20.6ポイント）は改善。資金需要は横ばい。【企業】設備投資（+2.9ポイント）と資金需要（+2.9ポイント）は改善。生産活動（△14.7ポイント）と収益（△8.8ポイント）は悪化。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2017年10-12月期)	2.9	8.8	2.9	14.7	8.8	△2.9	△5.9
今期(2018年1-3月期)	0.0	29.4	2.9	0.0	0.0	0.0	△2.9
前期比(ポイント)	△2.9	20.6	0.0	△14.7	△8.8	2.9	2.9

(6) 和歌山県（+11.1ポイント）

【個人】消費と資金需要はいずれも横ばい。【企業】設備投資（+16.7ポイント）と資金需要（+11.1ポイント）は改善。生産活動（△5.6ポイント）と収益（△5.6ポイント）は悪化。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2017年10-12月期)	△5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	△38.9	△16.7
今期(2018年1-3月期)	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	△22.2	△5.6
前期比(ポイント)	11.1	0.0	0.0	△5.6	△5.6	16.7	11.1

2 支店長が判断する来期の景気の方角性

1. 総合判断

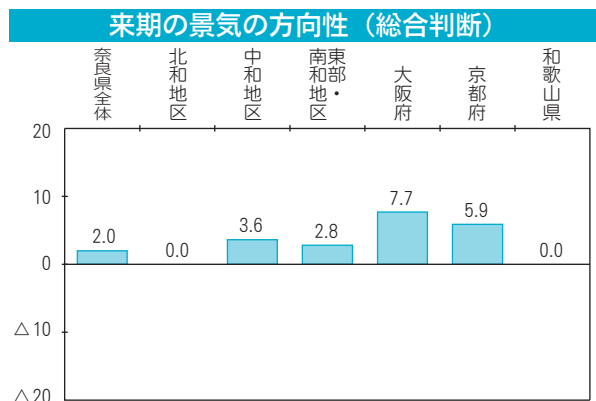
今期からみた「来期（2018年4～6月期）の景気の方角性（総合判断）」の予測は、奈良県全体で2.0と改善方向（今期との比較、以下同じ）の見込み。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
来期(4-6月期)の方角性	2.0	2.5	3.0	1.1	△3.4	5.7	1.7

これをエリア別に見ると、中和地区（3.6）と

東部・南和地区（2.8）は改善方向、北和地区は横ばい方向の予測となっている。

他府県では、大阪府（7.7）と京都府（5.9）は改善方向、和歌山県は横ばい方向の予測となっている。



2. エリア別、項目別にみた来期の景気の方向性

（1）北和地区（0.0）

【個人】消費（1.3）は改善方向の予測。資金需要（ $\Delta 2.5$ ）は悪化方向の予測。【企業】設備投資（1.5）は改善方向の予測。生産活動は横ばい方向の予測。収益（ $\Delta 3.0$ ）と資金需要（ $\Delta 1.5$ ）は悪化方向の予測。

来期(4-6月期)の方向性	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
	0.0	1.3	$\Delta 2.5$	0.0	$\Delta 3.0$	1.5	$\Delta 1.5$

（2）中和地区（3.6）

【個人】消費（2.4）と資金需要（7.1）はいずれも改善方向の予測。【企業】生産活動（1.3）、設備投資（7.7）、資金需要（2.6）は改善方向の予測。収益（ $\Delta 2.6$ ）は悪化方向の予測。

来期(4-6月期)の方向性	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
	3.6	2.4	7.1	1.3	$\Delta 2.6$	7.7	2.6

（3）東部・南和地区（2.8）

【個人】消費（5.6）と資金需要（5.6）はいずれも改善方向の予測。【企業】生産活動（3.1）、

来期(4-6月期)の方向性	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
	2.8	5.6	5.6	3.1	$\Delta 6.3$	9.4	6.3

設備投資（9.4）、資金需要（6.3）は改善方向の予測。収益（ $\Delta 6.3$ ）は悪化方向の予測。

（4）大阪府（7.7）

【個人】資金需要（1.9）は改善方向の予測。消費は横ばい方向の予測【企業】生産活動（13.5）、収益（7.7）、設備投資（21.2）、資金需要（9.6）はいずれも改善方向の予測。

来期(4-6月期)の方向性	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
	7.7	0.0	1.9	13.5	7.7	21.2	9.6

（5）京都府（5.9）

【個人】消費（11.8）と資金需要（2.9）はいずれも改善方向の予測。【企業】生産活動（5.9）、収益（5.9）、設備投資（11.8）、資金需要（5.9）はいずれも改善方向の予測。

来期(4-6月期)の方向性	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
	5.9	11.8	2.9	5.9	5.9	11.8	5.9

（6）和歌山県（0.0）

【個人】消費（ $\Delta 5.6$ ）と資金需要（ $\Delta 11.1$ ）はいずれも悪化方向の予測。【企業】生産活動（5.6）は改善方向の予測。設備投資と資金需要は横ばい方向の予測。収益（ $\Delta 11.1$ ）は悪化方向の予測。

来期(4-6月期)の方向性	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
	0.0	$\Delta 5.6$	$\Delta 11.1$	5.6	$\Delta 11.1$	0.0	0.0

3 奈良県内の景気の水準および方向性のまとめ

奈良県内の景気水準は $\Delta 7.5$ と前期から横ばいとなり、景気は全体としては緩やかに持ち直している。

個人においては、個人消費は、物価上昇や株式市場の先行き不透明感等を背景にやや弱含み。資金需要は、個人ローンの増加が見られる地域もあるが全体的には横ばい圏内の動き。

企業においては、生産活動は、一部に好調な企業も見られるものの二極化が進み、全体的には横ばい圏内の動き。後継者不足による廃業や人手不

足などの問題も散見される。収益面でも二極化が進んでおり、原材料費や人件費等のコスト上昇を価格に転嫁できず収益が圧迫されるケースも多い。設備投資も二極化の様相で、一部に補助金等を活用した投資の動きも散見されるが、全体としては横ばい圏内の動き。

来期（2018年4～6月期）についてはやや改善方向の予測。設備投資については、人手不足による効率化・省力化などを目的とした投資の動きや、不動産の物色の動きなども散見される。逆に原材料費や人件費等のコスト上昇を背景に、企業収益は悪化の見通し。（吉村謙一）

調査の概要

（1）調査方法

南都銀行各支店の営業範囲における地域経済の状況について、店頭での取引状況や取引先企業、自治体・商工会等へのヒアリングなどにより総合的に判断した結果を各支店長がアンケート回答（アンケート実施時期は2018年3月中旬～下旬）。

（2）調査項目

景気の水準と方向性に関して、個人の2項目（消費、資金需要）および企業の4項目（生産活動、収益、設備投資、資金需要）について5段階で評価し、その評価に基づき総合判断を行う。

（3）景気の水準・方向性の数値の算出方法

景気の水準・方向性を「良い・改善＝2点」「やや良い・やや改善＝1点」「どちらともいえない・不変＝0点」「やや悪い・やや悪化＝-1点」「悪い・悪化＝-2点」の5段階で判断。エリア別の合計点を、すべて「良い・改善＝2点」とした場合の合計点で除した数値に100を乗じて算出（評価の最高は100、最低は△100となる）。

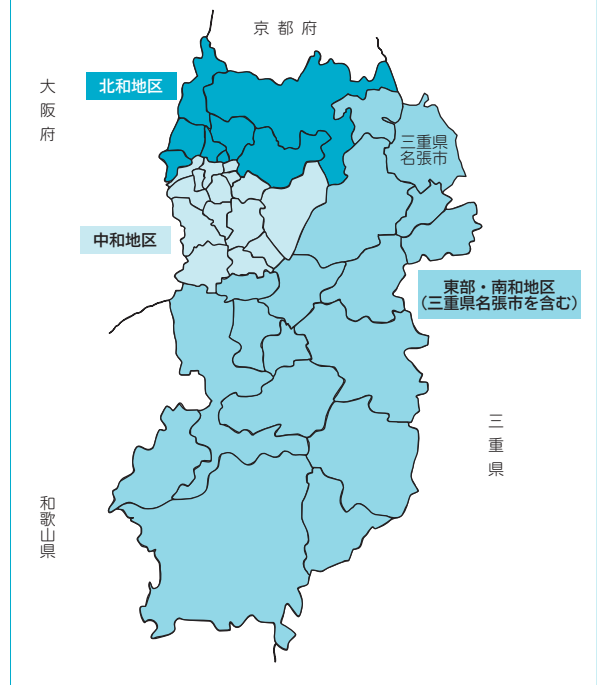
なお、支店規模に応じてウェイト調整を実施している。また、四捨五入の関係で末尾の数字が合

わない場合がある。

（4）対象エリア

本調査においては、奈良県（三重県名張市を含む）を「北和」「中和」「東部・南和」の3つのエリアに分け、大阪府（兵庫県尼崎市を含む）、京都府、和歌山県は各府県を1つのエリアとしている。

<奈良県のエリア区分>



エリアと支店所在地および支店数

エリア	支店所在地（マル数字は支店の数）
奈良県	北和地区【28か店】 奈良市⑮、大和郡山市③、天理市②、生駒市⑤、平群町①、三郷町①、斑鳩町①、安堵町
	中和地区【30か店】 大和高田市③、橿原市⑥、桜井市②、御所市③、香芝市③、葛城市②、川西町②、三宅町、田原本町①、高取町①、明日香村①、上牧町①、王寺町②、広陵町②、河合町①
	東部・南和地区【13か店】 五條市①、宇陀市③、山添村、曾爾村、御杖村、吉野町①、大淀町①、下市町①、黒滝村①、天川村、野迫川村、十津川村①、下北山村①、上北山村、川上村①、東吉野村①、三重県名張市①
大阪府【21か店】	大阪市⑦、堺市②、吹田市①、八尾市①、泉佐野市①、河内長野市①、大東市①、和泉市①、羽曳野市①、東大阪市④、兵庫県尼崎市①
京都府【11か店】	京都市②、宇治市①、城陽市①、京田辺市②、木津川市③、井手町①、精華町①
和歌山県【6か店】	和歌山市①、橋本市②、紀の川市①、岩出市①、高野町①

（注）市区町村コード順に記載。なお奈良県内でも支店が存在しない市町村がある。